Peppolが輝かせる「主役」たち　～株式会社 旭屋が実践するデジタルインボイス～

2025年６月６日、デジタル庁は、株式会社 旭屋（福島県浪江町）専務取締役 田河朋裕氏との間で、同社のデジタルインボイスの実践について、意見交換を行いました。

デジタルインボイスの実践経験を講演される田河専務

冒頭、「簡単な初期設定でデジタルインボイスを始めることができた」との発言がありました。

そのうえで「ボタン一つでデータを送信でき自動処理・仕訳も実現できる合理的な仕組み」といったデジタルインボイスに対する評価もありました。

また、おおよそ半数の請求がデジタルインボイスに切り替えられた現状を踏まえ、「業務の効率化だけでなく、具体的なコストの削減（郵便代・印刷代などで年間10万円程度の削減）（＝利益）も実現した」といった具体的な効果についても言及がありました。

さらに、これからデジタルインボイスを導入・実践しようとする事業者に対して、**「まずは１社だけでもデジタルインボイスに切り替えて実際に体験してもらうことが重要。そこから得られる小さな成功体験の積み重ねが不安や抵抗感の払拭につながっていくはず」**といった力強いメッセージがありました。

めんの旭屋